

野津原地区 小中一貫教育

1 研究主題

学ぶ喜びを実感できる教育活動の創造
～伝え合い、学び合いのできる言語活動の工夫を通して～

2 研究仮説

- 学ぶ意欲を引き出す「めあて(課題)」の設定、伝えあい、学び合うことができる言語活動の工夫、本時の学びを実感できる「まとめ(振り返り)」の充実、の3点を意識した授業づくりをすれば、児童・生徒は、学ぶ喜びを実感し、意欲的に学習に取り組むことで確かな学力を身に付けることができるであろう。
- 教科の学習だけでなく、あらゆる活動の中で、自己の成長を実感できるような振り返りや評価を行うことで、児童生徒は、成就感や達成感を味わい、自尊感情を高め、自他を大切にす豊かな心を育むことができるであろう。

3 研究の方向性

これまでの野津原校区の連携活動を基本とし、9年間の一貫教育にむけ、それぞれの活動をステップアップする。研究主題、仮説等は、あらたに設定するが、研究の大筋は、これまでのものを引き継いでいくこととする。全体研修の部会を「学習部」「生活部」の2つの部会に分け、主題に迫るために、授業実践や交流活動、特別活動等の実践を通して研究を行う。

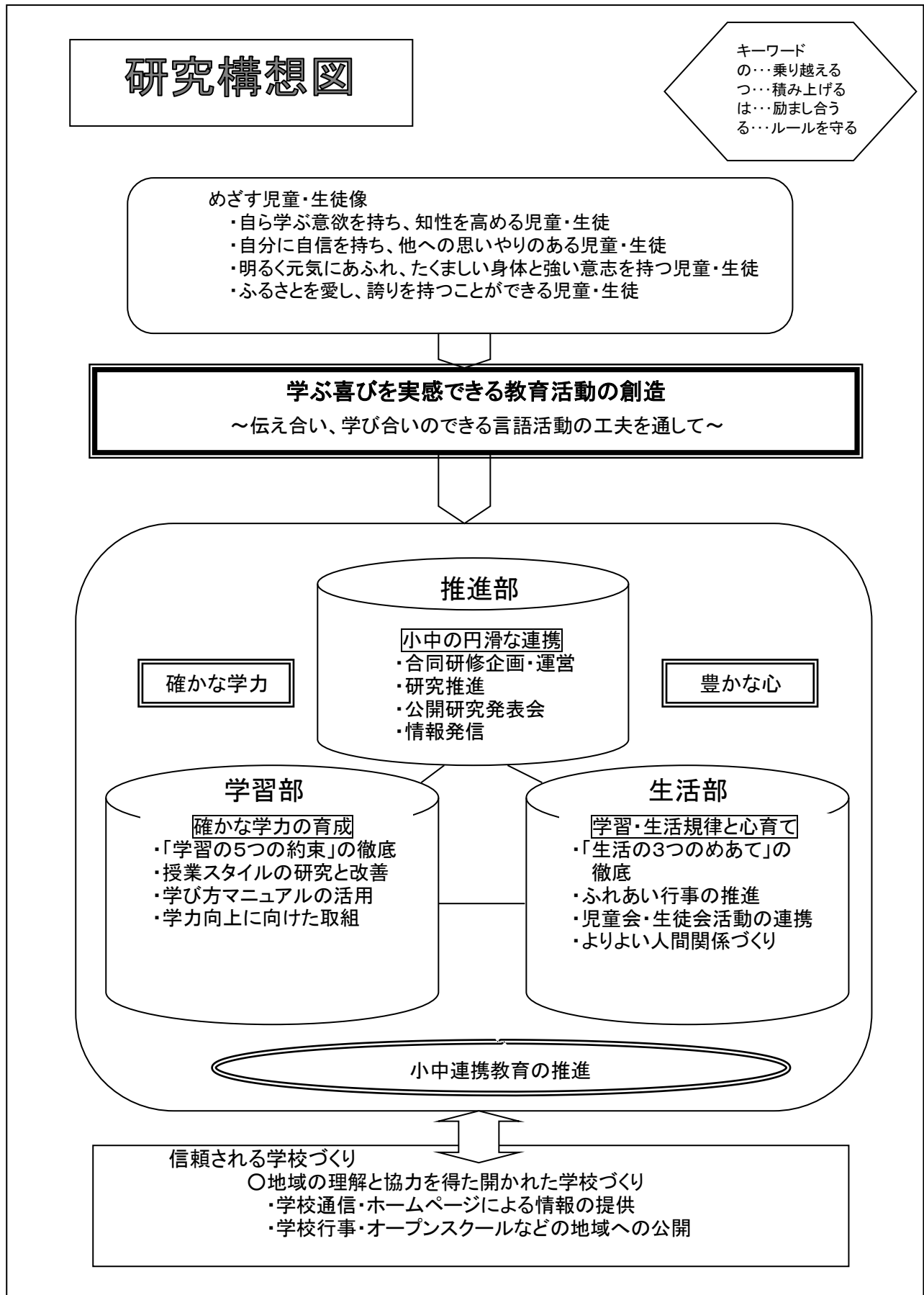
①学習部

- 確かな学力をつけるための「学習の5つの約束」の徹底及び「めあて」「まとめ」「言語活動」を大切にす授業スタイルの研究と実践。
- 系統的な聞く・話す・書く指導につながる「学び方マニュアル」の実践。
- 教職員の資質を高めるための乗り入れ授業及び互見授業の研究と実践。

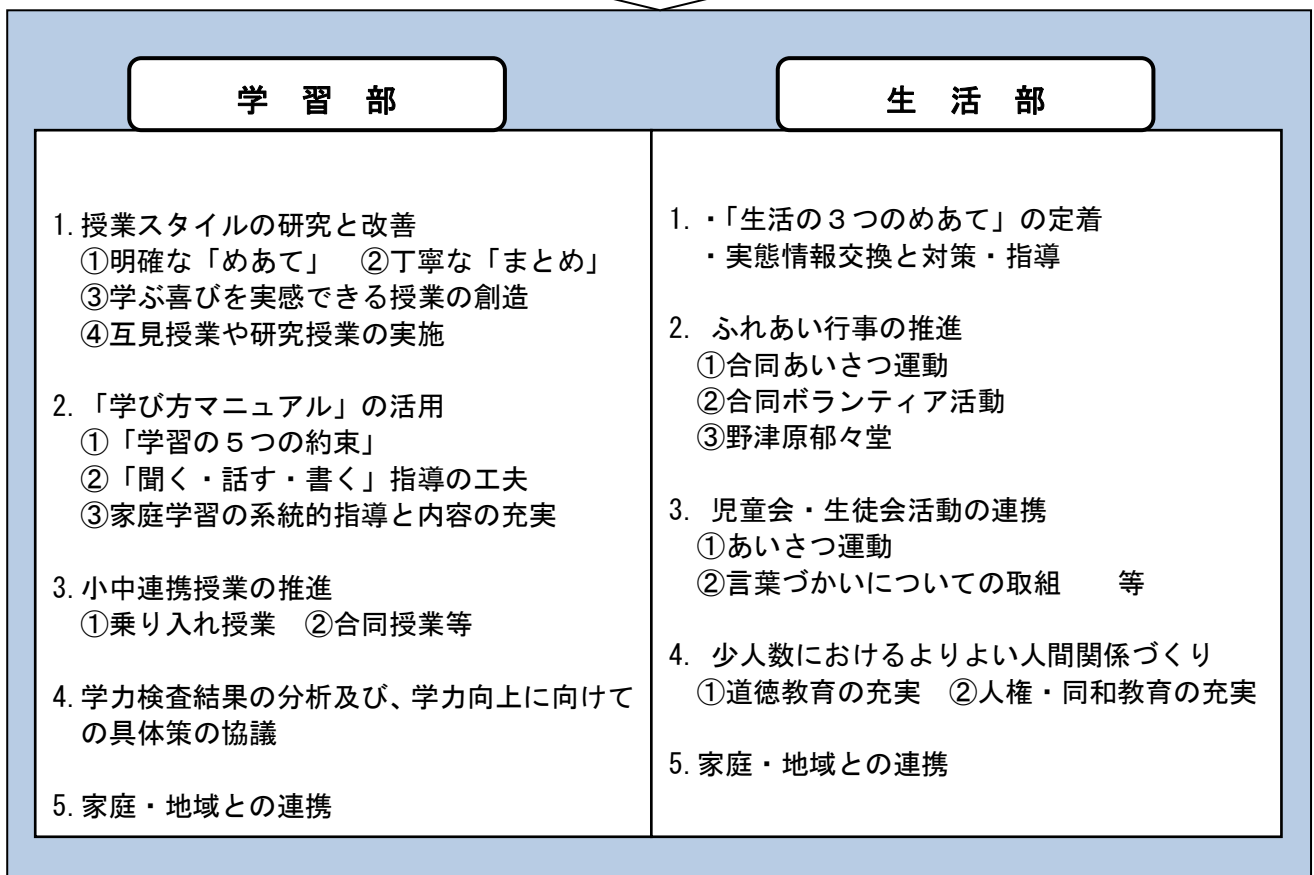
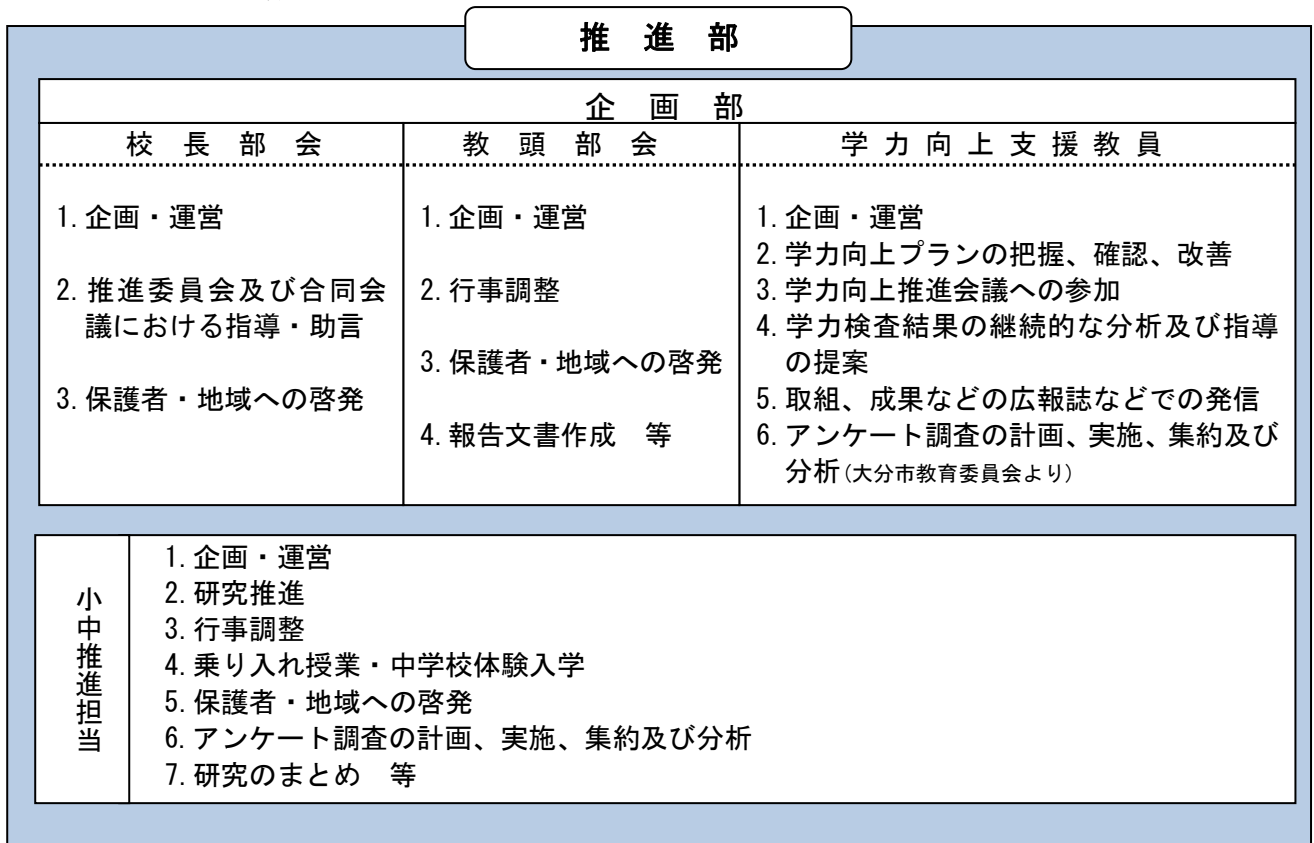
②生活部

- 学習の基盤となる望ましい集団づくり及び「生活の3つのめあて」の達成に向けた児童・生徒の実態把握と対策。
- 豊かな心を育成するためのふれあい行事、ボランティア活動等、異年齢交流の充実。
- よりよい人間関係づくりに向けた、児童会・生徒会活動の交流、人権学習、教育相談の充実。

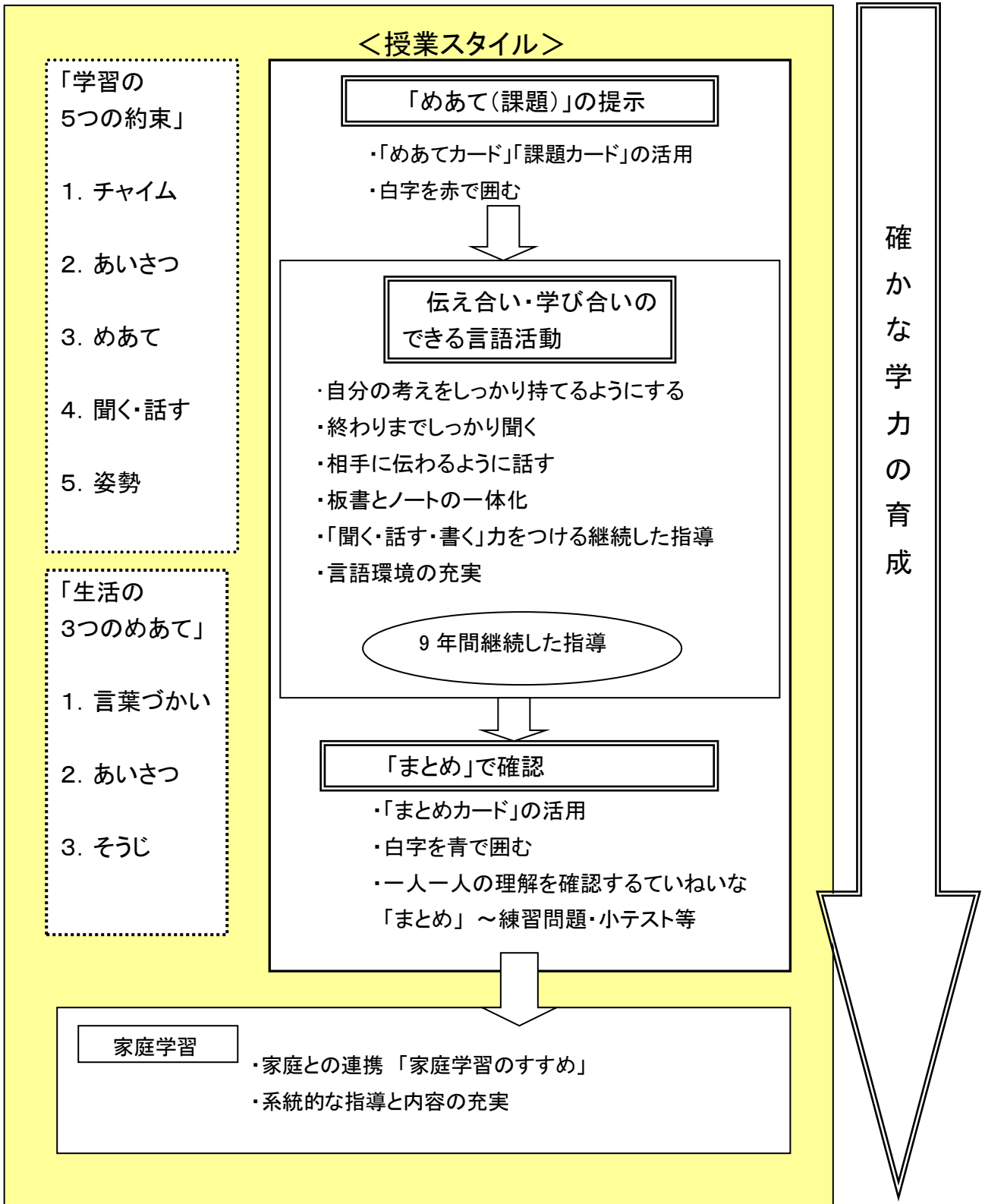
4 研究構想図



5 研究推進組織



6 「野津原学び方マニュアル」を活用した学習の流れ図



7 年間計画

月	企画		場所	内 容
4	◇小小連絡会 (校長・小中一貫担当プレ企画会議)	5	水 東部	・新年度の行事の詳細などを決める。
	◎第1回合同研修会(14:00～)	20	木 中学校	・新任者への説明と年度初めの共通理解
	□PTA総会で小中一貫教育について説明		各学校	・野津原校区の小中一貫教育について説明する。
5	○第1回企画会議(14:00～)	8	月 中学校	・研究主題、組織、活動内容などを確認
	○第1回推進委員会(15:00～)	16	火 中学校	・活動内容などを確認し、新年度の方向性の確定
	□小6-中1担任連絡会5限参観 ◎第2回合同研修会(15:30～)	25	木 中学校	・小6時の担任と中学校教員との連絡会 ・6月の合同授業研に向けて
6	□第1回アンケート調査(6月第2週) 集約			
	◎合同授業研・第3回研修会	21	水	
7	○第2回推進委員会(15:00～)	13	木	アンケートの分析と夏休み中の研修について
8	○第3回推進委員会			※必要に応じて
	◎第4回合同研修会(13:30～)	30	水 中学校	・アンケート・学力分析等 ・2学期の研究計画
9	○第2回企画会議	8	金	・2学期の取組 ・2学期の研究計画
10	□中学校体験入学	16	月 中学校	・体験授業と交流活動
11	□中学校文化祭	3	金 中学校	・展示などで5,6年生の参加
	□野津原都々堂 ○第4回推進委員会(15:00～)	7	火 中学校	・12月アンケートについて
	□合同ボランティア(Nクリーン作戦)	8	水	平日・午後実施
12	□第2回アンケート調査(12月第1週)			・各校で実施 分析は各校で行う
	○第5回推進委員会(15:00～)	5	火	・今年度の成果、課題、次年度に向けて
1	○第3回企画会議	18	木	・来年度の日程打ち合わせ・活動計画案作成
2	○第6回推進委員会(15:00～)	2	金	・次年度の方向性 ・活動計画案作成
	□入学説明会	13	火 中学校	
	◎第5回合同研修会(15:00～)	14	水 中学校	・今年度の活動反省と次年度の活動計画
3	□研究のまとめ			
	□小中連絡会	23	金 中学校	